# A 試合会場レポート

2018-19 V.LEAGUE DIVISION1 MEN　レギュラーラウンド

試合番号 **125**　開催日 **2018/11/11**

会場： **墨田区総合体育館**

| 観客数:1300 | 開始時刻:12:00 | 終了時刻:13:53 | 試合時間:1:53 | 主審:原　啓之 | 副審:浅井　唯由 |
|---|---|---|---|---|---|

## 堺ブレイザーズ

監督　：　真保　綱一郎
コーチ　：　上杉　徹

通算　：　**2** 勝 **3** 敗
ﾎﾟｲﾝﾄ　：　**6**

## 大分三好ヴァイセアドラー

監督　：　小川　貴史
コーチ　：　小林　尚登

通算　：　**0** 勝 **6** 敗
ﾎﾟｲﾝﾄ　：　**0**

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| **3** | **25** | 第1セット【0:26】 | **21** | **1** |
| | **25** | 第2セット【0:24】 | **20** | |
| | **23** | 第3セット【0:27】 | **25** | |
| | **25** | 第4セット【0:27】 | **21** | |
| | | 第5セット【】 | | |

ﾎﾟｲﾝﾄ **3**　【 】内はセット時間　（）内は交代選手　ﾎﾟｲﾝﾄ **0**

<監督コメント>

難しい状況の中、勝ち点３ポイントを取れたことは我々にとって大きなことである。
昨日と今日で出た課題をしっかりと克服して、来週は２つ勝って６ポイントを取りたいと思う。
本日もたくさんの応援ありがとうございました。引き続き応援よろしくお願いします。

**第1セット**

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| **25** | 関田 | 出来田(山口) | 藤田(濱本) | ｴｽﾍﾟﾎ | **21** |
| | 高野 | 千々木(小池) | ﾔｶﾝ | 藤岡 | |
| | 松本 | ｼﾞｮﾙｼﾞｪﾌ | 勝(辻口) | 高山(石橋) | |

リベロ: 山本　リベロ: 辻口(智)、松尾

**第2セット**

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| **25** | 高野 | 関田(宮原) | 藤田(濱本) | ｴｽﾍﾟﾎ | **20** |
| | 松本 | 出来田(山口) | ﾔｶﾝ | 藤岡 | |
| | ｼﾞｮﾙｼﾞｪﾌ | 千々木(小池) | 勝(辻口) | 高山 | |

リベロ: 山本　リベロ: 辻口(智)、松尾

**第3セット**

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| **23** | 関田 | 出来田(宮原) | 藤田(石橋) | ｴｽﾍﾟﾎ | **25** |
| | 高野 | 千々木(小池) | ﾔｶﾝ | 藤岡 | |
| | 松本(山口) | ｼﾞｮﾙｼﾞｪﾌ | 勝(辻口) | 高山(濱本) | |

リベロ: 山本　リベロ: 辻口(智)、松尾

**第4セット**

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| **25** | 千々木(小池) | ｼﾞｮﾙｼﾞｪﾌ | 藤田(濱本) | ｴｽﾍﾟﾎ | **21** |
| | 出来田(内藤) | 松本 | ﾔｶﾝ | 藤岡 | |
| | 関田(宮原) | 高野 | 勝(辻口) | 高山(石橋) | |

リベロ: 山本　リベロ: 辻口(智)、松尾

**第5セット**

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |

リベロ:　リベロ:

<監督コメント>

昨日のゲームの反省を踏まえサーブでの工夫、ブロックの修正を意識して戦い、選手はベストを尽くしてくれた。
次につながるゲーム展開だったと思う。良い点は継続できるよう、常に勝利を目指して戦っていきたい。
本日もご声援ありがとうございました。

<要約レポート>

堺ブレイザーズと、初勝利をあげたい大分三好ヴァイセアドラーの対戦。
第１セット、堺・関田の多彩なトスに対し、大分三好は藤岡がアタッカーの打ちやすいトスを配球し、一進一退の攻防となる。大分三好のヤカンとエスペホを、堺の高野と松本がブロックすると、要所でジョルジェフがアタックを決め、セットを先取する。
第２セット、堺はジョルジェフ、高野のサービスエースや、長いラリーを制するなど優位にゲームを進める。大分三好もヤカンを中心にアタックを決め追いすがる。しかし、堺は山口の好サーブレシーブから高野がアタックを決めると、松本のブロック、関田のサービスエースで３連続得点をあげ、セットを連取する。
第３セット、大分三好は粘り強いレシーブからヤカンと勝を中心に攻撃する。中盤リードを奪うと、代わって入った石橋がサーブで相手を崩し得点をあげる。さらに辻口(泰)が安定したサーブレシーブを見せ、セットを取る
第４セット、接戦から堺は千々木のスパイク、松本のブロックで一歩リードすると、代わって入った内藤がアタック、ブロックを決める。大分三好もエスペホのアタックで追いかける。このセットの勝敗を分けたのは、**22－21**の場面。堺は松本が難しいトスをアタックで決めたのに対して、大分三好は粘り強くレシーブしたが決めきれない。堺は３連続得点を奪い勝利をあげた。

作成者 ： 高澤　佳江

※本票の著作権は一般社団法人ジャパンバレーボールリーグに帰属します。